

通信制課程では、どうしても先生方と直接話す機会が限られてしまいます。そこで生徒会では、先生方のことをもっと身近に感じ、お話しするきっかけにもなればと考え、インタビューを実施しました。今回は高校時代の思い出や、先生という職業に対する思いをうかがう三つの質問を用意し、ご協力いただきました。(掲載に際し、ご回答は一部省略・編集しております。詳しくはご本人に聞いてみよう！)

☑調査項目/questionnaires:

Q①高校生の頃頑張っていたことは何ですか？

Q②担当している教科の先生になろうと思ったのは何故ですか？

Q③教員になって一番うれしかったことは何ですか？

子川先生

- A1. 通学です。家が田舎にあり、アップダウンのある道を往復 18 km、自転車で皆勤目指して通いました。学校で 40 度の高熱を出し、インフルだと信じて早退したら、扁桃腺の熱だったため、皆勤にはならず…でした。
- A2. 自分の得意なところ、やっても苦にならない分野を仕事にするのがよいと考えたから。
- A3. 卒業してから会った時に、「あの授業がおもしろかった」とか「あの話、今でも覚えています」などと生徒に言ってもらえると、教材研究や授業の準備にやる気がわいてきます。

青山先生

- A1. 部活！ソフトテニス部で毎日練習に励んでいました。今でも 1 番好きなスポーツで、続けています。
- A2. 小学校の算数のころから数学が得意で、友人に教えたとき、教えることの楽しさと人の役に立つ喜びに気づき、教員を目指しました。
- A3. 教え子から進路が決まったという報告を受けることです。希望する進路実現ができたときの眩しいほどの笑顔を見たとき、教員になってよかった、これからは頑張ろうと思います。

川又先生

- A1. 自転車通学。山の中腹に家があったので、行きは 20 分、帰りは約 1 時間かけて通っていました。勉強は高 2 になって英語と日本史が好きになり、力を入れていました。
- A2. 教育実習に行き、教える側の視点で国語の授業を見たときに、言葉の奥深さや文学作品の面白さを、様々な技法や工夫で伝える仕事に魅力を感じたことがきっかけです。
- A3. 一番を決めがたいのですが、教科や部活に関わった生徒の合格や勝利と一緒に喜べたこと。準備に携わった行事で、「楽しかった」「良かった」という感想が聞けたこと。

高橋先生

- A1. 通学です。JR と市内電車を乗り継いで、1 時間半くらいかけて通っていました。左ひざの靭帯を 2 回、痛めたので、松葉杖で階段の昇降を頑張っていました。
- A2. 担任の先生に大学を勧められたのがきっかけです。母親が料理・裁縫などでいろいろなものを作っていたのを幼い頃から見たり、教えてもらいながら一緒に作ったりしていたのが楽しかったからかもしれません。
- A3. 1 番っていうのは決められないけど、休み時間や放課後に、生徒さんと何気ない話をとりとめもなくしている時に、楽しいなとか嬉しいなとか思います。

小野先生

- A1. 書道部や文芸部に入って、友垣と作品や文芸誌作りを楽しんでいました。
- A2. 小学生の頃、壺井栄の「二十四の瞳」を読んで主人公の大石先生にあこがれたり、母が教師をしていた頃の話も聞いたりして、又、国話が好きということもあって、高校時代には国話の教師になりたいと思っていました。
- A3. 50 年近くの教員生活で公立・私立の多くの生徒と出会い(概算すると 7,000 人位になるみたいです)、今、いろいろな場で、それぞれの生活を大切に成長している、昔の教え子から労いの声をかけてもらえるのが、とても嬉しいです。

宮内先生

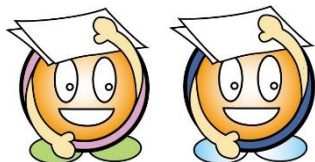
- A1. 入学してすぐ勧誘を受けた軟式野球部で、父から高価な外野手用のグローブを即受け取り、練習に 1 週間励みました。クラスの内野手の経験をもつ同級生のスマートなボールさばきを目の前にして、「やるな～」と思いましたが、いろんな経験を積みたいと思い、他の部活動で部長として頑張りました。
- A2. ①の部活の顧問が生物の教員で、その姿を追って生命とは何かをつきつめたいと思ったからです。
- A3. 宮内先生の指導を受けてみて、学校の先生になるのも悪くないと思ったと卒業した生徒から言われたこと。

通年でお送りしておりました先生方へのアンケートも、本号を以て完遂と相成りました。如何でしたでしょうか。

今年度も友垣の皆様の一人心のご理解とご協力のもと、生徒会活動を進めることができました。改めて感謝申し上げます。生徒会是我々役員のみでなく、生徒全員をもって構成するものです。新体制、新メンバーのもとでも、その歩みは皆様とともにあります。

今後の生徒会活動に、より深く関わってみたいとお考えの方がおられましたら、役員としての参画もぜひご検討ください。私たちは常に人手不足です。もちろん、日々のささやかなご協力もまた、私たちの生徒会を形づくる大切な力です。

それでは来年度も、それぞれの立場からともに歩んでいきましょう。



ふれあい

松山東高等学校通信制課程

余寒お見舞い申し上げます。

日中は少しずつ暖かさが戻り始め、春は緊急発進の機を虎視眈々と伺っているようです。後期試験を終え、開放感が訪れるかと思いきや、新年度や新生活への不安と期待が次々と顔を出し始める頃合となりました。

さて本号をもちまして、今年度の生徒会報は一区切りを迎えます。本号では、これまで生徒会活動を支えてきた旧役員幹部からのメッセージに加え、新たに就任した役員の挨拶、そして新年度へのスローガンを掲載しております。季節が次へと移ろうように、我々役員と友垣の皆様で構成される生徒会も、また新体制へと歩みを進めます。どうぞ最後までお読みいただき、新しい年度、新しい学校への小さな準備運動としていただけたら幸いです。

☑新年度生徒会スローガン『それぞれの形、一つの学校』

生徒会長 平林愛菜/Lieutenant Colonel, Student Government;

私たちは、一人ひとり目標も違えば、そこに至る道のりもペースも人それぞれです。そんな違いを認め合い、互いを尊重し合い、「一人じゃないんだ、がんばろう。」と共に歩みを進めています。令和8年度からスタートする、新校北条清新高校では、昼間定時制課程が併設されます。学び方は違っても、同じ校舎を拠点に学ぶ仲間。一人ひとりが違いを力に変え、自分らしい学びを育てていける場でありたいという思いから『それぞれの形、一つの学校』をスローガンに掲げました。北条清新高校でも、みんなで力を合わせて、もっと通いたくなるような学校にしていきたいと思います。

生徒会副会長 重松千咲/Major, Student Government;

いよいよ北条清新高校での日々が始まろうとしています。生徒会も新たな挑戦をして、進化していきます。責任を持って副会長を務めさせていただきます。1年間、よろしくお願いします！

生徒会副会長 渡邊諒成/Major, Student Government;

みなさんこんにちは！今年度から生徒会副会長になりました渡邊諒成です！生徒会選挙のときにも申し上げましたが、今年度から松山東高校から北条清新に学校が移ります。北条清新でも皆さんが楽しく過ごせるように生徒会一同頑張ってます！よろしくお願いします！！

生徒会書記 藤岡志乃/Staff Lieutenant, Student Government;

新書記として責任を持ち、皆さんの声を形にできるよう全力で取り組みます。よろしくお願いします。

(旧)生徒会長 濱田紘/Lieutenant Colonel, Student Government(Senior);

今年度も生徒会活動にご協力頂きありがとうございました。体育大会の新競技追加、ふれあいの内容の一新、校外では新校のPR活動など、例年に比べても精力的に活動できたのではないかと思います。これもひとえにサポートしてくれた生徒会役員と皆さんのおかげです。重ねてお礼申し上げます。4月からは北条に学舎を移し、皆さんはそこで新しい学校生活を送ることになります。不安もあると思いますが、そんな皆さんをサポートするために、新生徒会役員一同、誠心誠意活動しているので、是非ご期待のほどよろしくお願いします。

(旧)生徒会副会長 竹谷颯人/Major, Student Government(Senior);

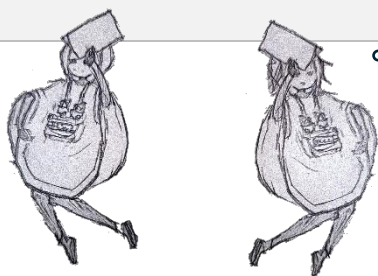
生徒会での活動はとても楽しく、自分が成長できる場所でもありました。長い間ありがとうございました。

(旧)生徒会副会長 大塚喜仁/Major, Student Government(Senior);

友垣の皆さんの前に立つ事は多くありませんでしたが、東高通信制最後の生徒会として活動出来たのは自分の誇りです。ありがとうございました。

(旧)生徒会書記 吉岡海翔/Staff Lieutenant, Student Government(Senior);

これまでありがとうございました。行事の企画運営、このふれあいなど広報物の作成を少しお手伝いさせて頂きました。少しでも楽しんでいただけたのならば光栄です。



誰…!?

